

令和元年度

健全化判断比率等
審査意見書

長岡京市監査委員

令和元年度 財政健全化審査

1 審査の期間

令和2年7月17日から令和2年7月27日まで

2 審査の方法

この財政健全化審査は、市長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が、適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

3 審査の結果

審査に付された下記、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

(単位：%)

健全化判断比率	令和元年度	平成30年度	令和元年度 早期健全化基準
①実質赤字比率	—	—	12.67
②連結実質赤字比率	—	—	17.67
③実質公債費比率	0.9	0.4	25.0
④将来負担比率	8.1	9.8	350.0

※ 実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字を生じていないため「—」と表示した。

4 むすび

いずれの比率においても早期健全化基準を下回っており、是正改善を要する事項はない。しかし、引き続き厳しい財政状況が続いていることから、より一層の財政健全化に努められたい。

令和元年度 水道事業会計経営健全化審査

1 審査の期間

令和2年6月8日から令和2年7月27日まで

2 審査の方法

この経営健全化審査は、市長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が、適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

3 審査の結果

審査に付された下記、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

(単位：%)

比 率 名	令和元年度	平成30年度	経営健全化基準
①資金不足比率	—	—	20.0

※ 資金不足を生じていないため「—」と表示した。

4 むすび

資金不足はなく、是正改善を要する事項はない。しかし、今後も厳しい経営環境が続くと予想されるので、より一層の経営健全化に努められたい。

令和元年度 公共下水道事業会計経営健全化審査

1 審査の期間

令和2年6月8日から令和2年7月27日まで

2 審査の方法

この経営健全化審査は、市長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が、適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

3 審査の結果

審査に付された下記、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

(単位：%)

比 率 名	令和元年度	平成30年度	経営健全化基準
①資金不足比率	—	—	20.0

※ 資金不足を生じていないため「—」と記載した。

4 むすび

資金不足はなく、是正改善を要する事項はない。公共下水道事業は、平成29年度から公営企業会計へ移行したが、引き続き厳しい財政状況が続くと思われるので、今後もより一層の経営健全化に努められたい。